

## 「第7回 神流マウンテンラン&ウォーク」にボランティア参加

皆さん、「トレイルランニング」というレースをご存じですか。

アスファルトではなく、自然の山道を駆けるマラソン競技です。

「神流マウンテンラン&ウォーク」は、2009年の第1回大会から今回で7回目を迎え、2011年(第3回)大会では、ランニング雑誌「ランナーズ」が主催する全国の人気大会ランキングで、トレイルラン大会として第1位に選ばれている人気のある大会です。また、2012年には、「過疎地域自立活性化優良事例」として総務大臣表彰も受けています。

平成27年11月8日(日)、当事務所が管轄する分収造林契約地に隣接する林道をコースの一部として使用する、第7回「神流マウンテンラン&ウォーク(群馬県神流町主催)」に、当事務所もボランティアとして参加しました。選手のコース誘導とエイド・ステーション(F1でいうところの cockpit)での救護・食料や飲み物の提供を地元役場の方々と共同で参加するとともに、コースの沿線に、山火事注意の横断幕や森林総合研究所の幟を立てることによるPR活動も併せて行いました。



コースに幟を設置

このイベントは、日本を代表するプロトレイルランナー鏑木毅氏(群馬県桐生市出身)が群馬県庁を退職する前に、過疎化で悩む神流町をトレイルランで盛り上げられないかということから、地域興しとして企画されたものです。

今回は、小雨が降る生憎のコンディションの中、老若男女628名の参加で開催されました。

コース誘導においては、苦しそうに上り坂を走ってくる選手に「もうすぐエイドです、がんばって」と声をかけると「ありがとう」の声や、「寒い中、ご苦労様」など逆に労いの言葉をかけていただきました。また、食料などを提供するエイド・ステーションでは、ランナーからご当地のお菓子をいただいたり、ボランティアである自分達が元気をいただいた有意義な1日でした。



エイドステーション

当事務所では、今後もこのような地域のイベントに積極的に参加し、地域の方々との交流を深めながら、啓発活動や事業のPRに努めていきたいと考えています。